



■施工される方へのお願い この説明書は必ずお施主様へお渡しください。

本書はお施主様が安全に正しくご使用いただくための重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

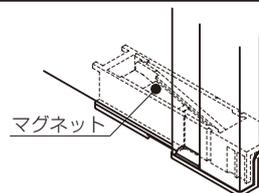
■警告用語の種類と意味

- この「取扱い説明書」では、危険度(又は事故の大きさ)によって、次の3段階に分類しています。
以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

用語	意味
警告	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
注意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

警告

- 引戸本体の下部のコーナー部にマグネットが内蔵されています。
30cm以上離れて操作および使用してください。
心臓ペースメーカーを装着されている方は、接近して操作されると誤作動をまねくおそれがあります。
その他医用電子機器類についても影響を与える場合があります。
各機器メーカー又は販売者にご確認ください。



注意

- 本体にもたれかからないでください。
本体が外れケガをするおそれがあります。
- ガイドピンが本体下部のレールから外れた状態で本体を開閉したり前後に動かさないでください。部品が破損して落下する恐れがあります。
- ガイドピンがもどらない場合は必ず手で押し戻してください。
思わぬケガをするおそれがあります。



お願い

ガイドピンが本体下部のレールから外れた場合、開閉方向に本体を静かに1往復させてください。

お手入れ方法

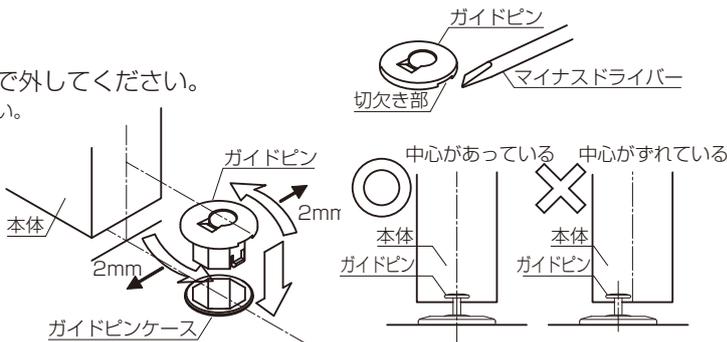
- ガイドピンのまわりは定期的に掃除機をかけてください。
ゴミやほこりによってガイドピンの動きが悪くなり本体にかからなくなることがあります。
- ジュースなどの液体をこぼしたり、ガイドピンの動きが悪い場合は、ガイドピンのピンを引き上げて濡れた布で拭き、よく乾かしてください。
- 床へワックスや洗剤を使用する場合はガイドピン内にはいり込まないようにしてください。
ガイドピンの動きが悪くなり本体にかからなくなることがあります。



調整方法について

■前後調整(調整幅±2mm)

- ①ガイドピンを切り欠き部にマイナスドライバーなどを差込んで外してください。
※床にキズつかないようにマイナスドライバーの下にあて布をして外してください。
- ②本体が静止していることを確認し、本体の中心線にガイドピンの先端がくるようにガイドピンをまわして位置をあわせてください。
※中心がずれていると、可動間仕切り開閉時にガイドピンが外れてしまう場合があります。
※ガイドピンケース内部、ガイドピン本体にゴミなどが入り込んでいる場合はきれいに取り除いてください。
- ③位置があったらガイドピンをガイドピンケースへ『カチッ』と音がするまで押し込んでください。



●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。